

2025 年度 財務の状況

I 事業活動収支について

令和 7 年度の事業活動収入合計は約 16 億 5 千万円、予算比 104.5%、前年比 113.2%となり、事業活動支出合計は約 16 億 2 千万円、予算比 107.0%、前年比 113.5 となり、2025 年度における教育事業活動としては収支差額で約 3 千万円のプラスとなりました。また、基本金組入前当年度収支差額では約 2 千 2 百万円のプラスとなり、前年より約 7 千万円の増加となっております。

1. 主な留意点

1) 収入

①学生生徒納付金は前年に対し約 3 千 8 百万円の増加となりました。

【要因】授業料が約 3 千 5 百万円（初等部で 1 千 5 百万、中高で約 2 千万）の増加。

②寄付金合計は約 1 億 3 千万円と前年より約 6 千万円増加し、様々な分野の個人、企業様よりご支援をいただきました。

③高等部の IB クラスの特化に伴い、前年に対して約 3 千 6 百万円の増加となりました。

2) 支出

① 人件費

事業所別教員人件費比較 (千円)

	2026 年度	2025 年度	差額
初等部	448,513	429,487	19,026
中等部	263,279	239,851	23,428
高等部	246,529	240,131	6,398
合計	958,321	909,469	48,852

事業所別教員人数比較 (年度末 3 月末数字)

	2026 年度	2025 年度	差額
初等部	54	55	-1
中等部	36	33	3
高等部	31	32	-1
合計	121	120	1

* 教員数はほぼ前年同数で推移しており、教育業界全体の人件費高騰が影響しております。

② 教育研究費及び管理経費については引き続き経費削減に努めた結果予算に対しては減少しておりますが、諸物価高騰による経費増加傾向は前年比に表れております。

3) 事業活動収支差額

事業活動収支差額（営業利益）は、約 3 千万円のプラスとなっておりますが、生徒数の増減が学園収支に大きく影響してまいります。また、寄付金や学校債での資金補填も大きく影響してまいります。

Ⅱ. 資金収支計算書

資金収支状況について

令和 7 年度資金収入額は約 25 億 8 千万円なり、前年度末より約 3 千万円増加しました。

前年度からの繰越金はほぼ予算通りで、次年度繰越金額は 1 億 8 千万円となっており、以前
厳しい状況が続いております。

Ⅲ 貸借対照表

1. 資産の部

年度末資産総額は約 25 億 8 千万円となり、前年度末より約 3 千万円の増加となりました。

1) 固定資産

有形固定資産は約 20 億で前年度末に対して約 4 千 5 百万減少しました。

2) 特定資産

学校債（G K A 債）が、前年度末より約 9 千 6 百万円増加しました。

3) 流動資産

流動資産は約 2 億 3 千万円となり、前期末より約 1 千万円の減少、現預金は約 1 千 5 百
万円の減少となりました。

2. 負債の部

合計で約 14 億 9 千万となり、前期末より約 9 百万円の増加となりました。

1) 固定負債

固定負債は約 12 億 6 千万円で、前年度末に対して約 1 億 4 千万円の増加となり、長期
借入金 は 8 百万円の減少となりました。

2) 流動負債

流動負債は約 2 億 3 千万円で前年度末に対して約 2 千万円の増加となっており、短期
借入金 が 1 千万円増加しました。

3. 純資産の部

純資産は約 10 億 8 千万円となり、前年度末に対して 2 千万円の増加となりました。